



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月10日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
 コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 忠行 TEL 022-243-5091
 定時株主総会開催予定日 2021年6月28日 配当支払開始予定日 2021年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	21,348	0.6	592	2.8	660	3.6	341	23.8
2020年3月期	21,216	0.8	576	△12.6	637	△13.0	275	△26.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	48.41	—	5.1	4.4	2.8
2020年3月期	39.09	—	4.3	4.5	2.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	15,594	6,894	44.2	977.18
2020年3月期	14,530	6,562	45.2	930.09

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,894百万円 2020年3月期 6,562百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,133	△243	164	1,873
2020年3月期	443	△784	292	820

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	70	25.6	1.1
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	70	20.7	1.0
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		20.6	

3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,270	—	△135	—	△106	—	△120	—	△17.01
通期	21,800	—	600	—	662	—	342	—	47.48

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	7,275,500株	2020年3月期	7,275,500株
2021年3月期	220,000株	2020年3月期	220,000株
2021年3月期	7,055,500株	2020年3月期	7,055,500株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置による外出・営業自粛等の要請により個人消費動向が減少し、経済環境は非常に厳しい状況となりました。2020年4月の緊急事態宣言解除後は緩やかな回復があったものの、2021年1月以降の感染拡大もあり、個人消費動向及び景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社におきましても、2020年4月の緊急事態宣言の発令に伴い自遊空間及びセガは営業自粛、TSUTAYA及びコマダ珈琲店は営業時間の短縮を余儀なくされましたが、第2波、第3波の感染拡大においては、営業時間の短縮要請はありませんでした。同宣言解除後も業績の厳しいセガ事業及び自遊空間事業は、コロナ禍においても業績の安定したダイソー事業への業態変更を実施するなど、変化対応を迫られる状況となりました。

主たる事業であるイエローハット事業では、休業要請を行わない施設に指定されたこともあり通常営業としましたが、趣味嗜好品の消費動向は低調に推移しております。

そのような環境の中、当社におきましては、会社方針に『あるもの活かし』を掲げ、徹底した「経費削減」と「売上総利益率改善計画」の実現に向け、全社一丸となって取り組んで参りました。

2020年9月に宮城県大崎市にあるセガワールド古川店を退店、同年11月に福島県会津若松市にアップガレージ会津インター店及び宮城県大崎市にダイソー古川バイパス店を出店、2021年3月に宮城県名取市にあるアップガレージ仙台名取店を同建物内の2階倉庫に移設し、1階にイエローハット名取南店を出店、岩手県奥州市にダイソー水沢店を出店、宮城県多賀城市にある自遊空間多賀城店をダイソーへ業態変更するために退店致しました。当事業年度末の店舗数は、イエローハットが89店舗、TSUTAYAが9店舗、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが4店舗、宝くじ売場が5店舗、コマダ珈琲店が1店舗の合計119店舗（前事業年度比2店舗増）となっております。

この結果、当事業年度の経営成績は、売上高は21,348百万円となり、前事業年度比132百万円（前事業年度比0.6%増）の増収となっております。経常利益につきましては660百万円となり、前事業年度比23百万円（前事業年度比3.6%増）の増益となりました。当期純利益は341百万円となり、前事業年度比65百万円（前事業年度比23.8%増）の増益となりました。増収増益の要因は主として、主たる事業であるイエローハット事業は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による節約志向により低迷したものの、同感染症の影響により単籠需要が増加しTSUTAYA事業においてそれを補完したため、売上高は増加致しました。費用面では、人件費や広告宣伝費等の経費は削減できたことにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は増益となっております。

セグメント別の業績は次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、2021年3月に宮城県名取市にイエローハット名取南店を出店致しました。

2020年4月の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令時、休業要請を行わない施設に指定されたことを受けて通常営業を継続しておりました。夏タイヤへの履き替え時期でもあり、その交換作業は入りましたが、ドライブレコーダー等の趣味嗜好品は低迷致しました。緊急事態宣言解除後の特別定額給付金支給もあり、6月以降は回復基調であったものの、2019年9月の消費税増税前駆け込み特需の反動もあり、売上高は低調に推移致しました。また、第2四半期までは広告宣伝活動を自粛等の経費削減もあり、セグメント利益（営業利益）は増益となりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高16,921百万円（前事業年度比0.9%減）、セグメント利益（営業利益）は839百万円（前事業年度比0.2%増）となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛により書籍及びゲームの需要が増加致しました。また、緊急事態宣言解除後の特別定額給付金支給によるゲーム需要の増加、さらに新型ゲーム機「PlayStation5」の発売、コミック「鬼滅の刃」の販売等もあり、当事業年度は好調に推移致しました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高2,463百万円（前事業年度比12.7%増）、セグメント利益（営業利益）は8百万円（前事業年度13百万円のセグメント損失（営業損失））となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、2020年11月に福島県会津若松市にアップガレージ会津インター店の新規出店、宮城県名取市にあるアップガレージ仙台名取店を同建物内2階へ移設するために、2021年2月16日から3月19日までの約1ヵ月休業を行いました。

4月及び5月はイエローハット事業と同様の推移となりましたが、6月以降につきましては昨年の在庫適正化（長期在庫の拡販による高粗利商品の品揃え）により高粗利商品販売が順調だったものの、8月以降は前年同四半期の消費税増税前駆け込み特需の反動があり、売上高は低調に推移致しました。また、新規店舗及び移設店舗により費用は増加し、セグメント利益（営業利益）は減益となりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高947百万円（前事業年度比2.4%減）、セグメント利益（営業利益）は47百万円（前事業年度比46.3%減）となっております。

[その他]

その他事業におきましては、2020年9月に宮城県大崎市のセガワールド古川店を退店し、2020年11月に同市にダイソー古川バイパス店の新規出店、2021年3月に宮城県多賀城市の自遊空間多賀城店を退店しております。

ダイソー事業、宝くじ事業、保険事業及び不動産賃貸事業は好調に推移致しました。

自遊空間事業及びカーセブン事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

2019年9月に新規出店したコマダ事業により、「その他」の事業全体として、売上高は好調に推移したものの店舗改廃により費用が増加し減益となりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高1,017百万円（前事業年度比3.8%増）、セグメント利益（営業利益）は86百万円（前事業年度比17.6%減）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度における流動資産の残高は1,005百万円増加し、8,278百万円（前事業年度末7,273百万円）となりました。これは主に、商品が46百万円及び未収入金が31百万円及び減少したものの、現金及び預金が1,004百万円及び売掛金が63百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産の残高は58百万円増加し、7,315百万円（前事業年度末7,257百万円）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産について91百万円の減損損失を特別損失に計上したこともあり建物が106百万円減少したものの、投資有価証券が26百万円、関係会社株式が61百万円及び繰延税金資産が65百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産残高は15,594百万円（前事業年度末14,530百万円）となりました。

② 負債

当事業年度における流動負債の残高は591百万円増加し、6,289百万円（前事業年度末5,698百万円）となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が109百万円減少したものの、短期借入金が300百万円、未払費用が173百万円及び未払消費税等が106百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債の残高は140百万円増加し、2,410百万円（前事業年度末2,270百万円）となりました。これは主に、長期借入金が59百万円及び退職給付引当金が96百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は8,700百万円（前事業年度末7,968百万円）となりました。

③ 純資産

当事業年度における純資産の残高は332百万円増加し、6,894百万円（前事業年度末6,562百万円）となりました。これは、当期純利益を341百万円計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,873百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,131百万円（前事業年度は443百万円の収入）となりました。

これは主に、法人税等の支払額が220百万円あったものの、税引前当期純利益555百万円及び減価償却費317百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、243百万円（前事業年度は784百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が295百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は164百万円（前事業年度は292百万円の収入）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が549百万円あったものの、長期借入れによる収入が500百万円及び短期借入金の純増減額が300百万円増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	41.2	41.7	45.1	45.2	44.2
時価ベースの 自己資本比率 (%)	26.2	32.5	28.0	22.2	23.8
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	5.4	3.4	6.3	9.1	3.8
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	22.9	14.4	20.5	16.6	44.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2022年3月期の見通しにつきましては、2021年3月期と同様に売上総利益率の向上策を推進し、営業利益の確保を計画しております。

主たる事業であるイエローハット事業におきましては、車検販売を主軸にカーメンテナンス等工賃収入の増加を計画しております。

第2四半期累計期間において新型コロナウイルス感染症の影響により節約志向は継続し、趣味嗜好品等は低迷、TSUTAYA事業の巣籠需要の反動があり、第3四半期以後に同感染症のワクチンにより、個人消費動向は徐々に回復するものと予想しております。費用面では、2021年3月期の新規出店店舗の費用が増加及び2022年3月期に新規出店2店舗を予定しており費用は増加の計画であります。

通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益に関しましては、概ね横ばい予想となります。

翌事業年度の売上高は21,800百万円、経常利益は662百万円、当期純利益342百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めて参ります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	928,407	1,932,682
売掛金	583,983	647,866
商品	5,237,612	5,191,275
貯蔵品	2,167	1,789
前払費用	138,275	147,707
未収入金	361,632	329,746
その他	21,387	27,797
貸倒引当金	△100	△102
流動資産合計	7,273,365	8,278,762
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,296,341	2,189,478
構築物(純額)	145,460	158,288
車両運搬具(純額)	32,478	37,618
工具、器具及び備品(純額)	214,851	216,401
土地	1,913,440	1,934,039
リース資産(純額)	17,988	10,793
建設仮勘定	—	4,367
有形固定資産合計	4,620,561	4,550,987
無形固定資産	13,193	15,256
投資その他の資産		
投資有価証券	146,411	172,485
関係会社株式	298,058	360,048
長期前払費用	63,709	55,284
繰延税金資産	846,664	912,380
長期預金	11,400	30,150
敷金及び保証金	1,182,021	1,153,127
リース投資資産	74,868	65,479
その他	570	570
投資その他の資産合計	2,623,705	2,749,526
固定資産合計	7,257,460	7,315,769
資産合計	14,530,825	15,594,532

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,056,296	1,001,914
短期借入金	2,950,000	3,250,000
1年内返済予定の長期借入金	504,996	395,016
リース債務	15,069	15,759
未払金	162,150	237,099
未払費用	216,542	390,354
未払法人税等	243,720	335,959
未払消費税等	101,770	207,972
前受金	47,719	50,977
預り金	34,794	43,975
賞与引当金	100,916	93,333
ポイント引当金	256,571	259,340
その他	7,700	7,700
流動負債合計	5,698,246	6,289,404
固定負債		
長期借入金	525,016	585,000
リース債務	78,821	63,061
退職給付引当金	1,283,087	1,379,917
役員退職慰労引当金	150,066	152,948
資産除去債務	166,001	169,249
長期預り敷金保証金	65,756	59,487
その他	1,566	976
固定負債合計	2,270,314	2,410,639
負債合計	7,968,561	8,700,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金		
資本準備金	500,645	500,645
資本剰余金合計	500,645	500,645
利益剰余金		
利益準備金	42,692	42,692
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	75,353	72,082
別途積立金	1,230,000	1,230,000
繰越利益剰余金	2,765,430	3,039,686
利益剰余金合計	4,113,476	4,384,461
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	6,416,386	6,687,371
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	145,877	207,116
評価・換算差額等合計	145,877	207,116
純資産合計	6,562,264	6,894,488
負債純資産合計	14,530,825	15,594,532

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	21,216,917	21,348,977
売上原価		
商品期首たな卸高	4,965,560	5,237,612
当期商品仕入高	11,990,546	11,849,278
合計	16,956,107	17,086,890
他勘定振替高	32,287	40,707
商品期末たな卸高	5,237,612	5,191,275
商品売上原価	11,686,207	11,854,907
売上総利益	9,530,709	9,494,069
販売費及び一般管理費	8,954,642	8,901,629
営業利益	576,067	592,440
営業外収益		
受取利息	4,771	4,149
受取配当金	11,331	13,476
受取手数料	26,310	26,935
受取報奨金	10,686	9,873
産業廃棄物収入	21,630	17,129
その他	16,047	25,650
営業外収益合計	90,778	97,214
営業外費用		
支払利息	26,124	25,295
その他	2,997	3,397
営業外費用合計	29,122	28,693
経常利益	637,724	660,961
特別利益		
固定資産売却益	—	36
特別利益合計	—	36
特別損失		
固定資産売却損	1	—
減損損失	129,189	91,308
災害による損失	—	10,919
固定資産除却損	127	1,492
投資有価証券評価損	26,045	—
解体撤去費用	—	1,320
賃貸借契約解約損	12,369	—
特別損失合計	167,732	105,040
税引前当期純利益	469,992	555,957
法人税、住民税及び事業税	220,443	306,956
法人税等調整額	△26,277	△92,539
法人税等合計	194,165	214,416
当期純利益	275,826	341,540

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					圧縮記帳積立金	別途積立金
当期首残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	78,624	1,230,000
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
圧縮記帳積立金の取崩					△3,271	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△3,271	—
当期末残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	75,353	1,230,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	2,556,887	3,908,204	△108,380	6,211,114	131,969	131,969	6,343,084
当期変動額							
剰余金の配当	△70,555	△70,555		△70,555			△70,555
当期純利益	275,826	275,826		275,826			275,826
圧縮記帳積立金の取崩	3,271	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					13,908	13,908	13,908
当期変動額合計	208,542	205,271	—	205,271	13,908	13,908	219,180
当期末残高	2,765,430	4,113,476	△108,380	6,416,386	145,877	145,877	6,562,264

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
					圧縮記帳積立金	別途積立金
当期首残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	75,353	1,230,000
当期変動額						
剰余金の配当						
当期純利益						
圧縮記帳積立金の取崩					△3,271	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△3,271	—
当期末残高	1,910,645	500,645	500,645	42,692	72,082	1,230,000

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計					
	繰越利益剰余金						
当期首残高	2,765,430	4,113,476	△108,380	6,416,386	145,877	145,877	6,562,264
当期変動額							
剰余金の配当	△70,555	△70,555		△70,555			△70,555
当期純利益	341,540	341,540		341,540			341,540
圧縮記帳積立金の取崩	3,271	—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					61,238	61,238	61,238
当期変動額合計	274,256	270,985	—	270,985	61,238	61,238	332,224
当期末残高	3,039,686	4,384,461	△108,380	6,687,371	207,116	207,116	6,894,488

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	469,992	555,957
減価償却費	322,544	317,373
減損損失	129,189	91,308
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,916	△7,583
投資有価証券評価損益(△は益)	26,045	—
受取利息及び受取配当金	△16,103	△17,626
支払利息	26,124	25,295
解体撤去費用	—	1,320
売上債権の増減額(△は増加)	△5,697	△63,882
たな卸資産の増減額(△は増加)	△272,181	46,715
未収入金の増減額(△は増加)	96,662	31,885
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,124	△54,381
未払金の増減額(△は減少)	△13,033	56,347
未払費用の増減額(△は減少)	△149,340	173,877
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,842	106,202
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,367	2,882
退職給付引当金の増減額(△は減少)	129,521	96,830
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,577	2,769
固定資産除却損	127	1,492
賃貸借契約解約損	12,369	—
災害による損失	—	10,919
その他	△47,673	△16,155
小計	744,967	1,361,548
利息及び配当金の受取額	16,100	17,623
利息の支払額	△26,772	△25,358
法人税等の支払額	△290,703	△220,601
災害による損失の支払額	—	△50
営業活動によるキャッシュ・フロー	443,592	1,133,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△749,712	△295,345
有形固定資産の売却による収入	1,701	36
投資有価証券の取得による支出	△25,583	—
定期預金の預入による支出	△49,550	△27,900
定期預金の払戻による収入	56,800	58,803
子会社株式の取得による支出	△59,160	—
敷金及び保証金の差入による支出	△9,296	△14,994
敷金及び保証金の回収による収入	50,950	41,966
その他	△352	△6,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△784,202	△243,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	300,000
長期借入れによる収入	500,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△722,512	△549,996
配当金の支払額	△70,555	△70,555
リース債務の返済による支出	△14,517	△15,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	292,415	164,379
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48,193	1,053,926
現金及び現金同等物の期首残高	868,233	820,039
現金及び現金同等物の期末残高	820,039	1,873,965

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、フランチャイジーとして展開する各事業を基本的な構成単位として、経営資源の配分の決定を行い業績を評価しているため、商品・サービス別のセグメントから構成されております。

当社は、カー用品の販売、取付、車検、整備等を行う「イエローハット事業」、DVD・CD・書籍等のレンタル・販売等を行う「TSUTAYA事業」、中古カー用品の買取・販売の「アップガレージ事業」を中心として事業活動を展開していることから、「イエローハット事業」「TSUTAYA事業」「アップガレージ事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に概ね準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は実勢価格を勘案して予め定めた合理的な金額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	17,081,086	2,185,094	970,354	20,236,536	980,381	21,216,917	—	21,216,917
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,200	1,854	475	19,530	14,136	33,666	△33,666	—
計	17,098,287	2,186,949	970,830	20,256,066	994,518	21,250,584	△33,666	21,216,917
セグメント利益 又は損失(△)	838,092	△13,978	87,909	912,022	105,385	1,017,408	△441,340	576,067
セグメント資産	9,494,297	1,889,441	563,679	11,947,418	653,052	12,600,471	1,930,354	14,530,825
その他の項目								
減価償却費	208,718	37,432	21,284	267,436	18,509	285,945	12,852	298,798
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	397,922	389,135	13,017	800,075	63,285	863,360	15,052	878,413

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。

2. 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△441,340千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,930,354千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額12,852千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸 表 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	16,922,032	2,463,018	947,340	20,331,391	1,017,585	21,348,977	—	21,348,977
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,117	1,468	479	14,065	15,707	29,773	△29,773	—
計	16,933,150	2,464,486	947,820	20,345,457	1,033,292	21,378,750	△29,773	21,348,977
セグメント利益	839,640	8,752	47,182	895,575	86,843	982,418	△389,978	592,440
セグメント資産	9,464,441	1,890,648	554,232	11,909,322	748,618	12,657,941	2,936,590	15,594,532
その他の項目								
減価償却費	202,093	35,630	21,551	259,275	24,529	283,805	9,735	293,540
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	125,401	9,670	86,510	221,582	89,469	311,052	7,528	318,581

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、自遊空間事業及び保険収入等を含んでおります。

2. 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益の調整額△389,978千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,936,590千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、繰延税金資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額9,735千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益は損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	930.09円	977.18円
1株当たり当期純利益金額	39.09円	48.41円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益金額(千円)	275,826	341,540
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	275,826	341,540
期中平均株式数(株)	7,055,500	7,055,500

(重要な後発事象)

該当事項はありません。